

The 8th IAGG Master Class on Ageing in Asia に参加して

中嶋 恒男

(日老医誌 2017; 54: 423)

2017年3月24日から26日に台湾、高雄で開催された The 8th IAGG master class on Ageing in Asia に参加させていただきました。私は大阪大学老年総合内科にて老年医学、特に認知症の研究に携わっているところですが、認知症だけではなく、老年症候群・サルコペニアといった高齢者特有の病態に関して幅広く理解を深めるために今回の参加を希望させていただきました。国際的な場に参加するのは今回が初めてであり、またあまり英語が得意でないために、参加前には多くの不安を抱えておりました。しかし、実際に Master class が始まってみると、tutor の先生方や同グループの先生方に気さくに話かけていただいたり、困った場面で助けていただいたり、楽しく過ごすことが出来ました。Master class の講演では、老年症候群やフレイル、サルコペニアなどに関して著名な講師陣から最新の老年医学について学ぶことができました。各分野世界的なスペシャリストの話聞き、老年医学は奥が深く、興味深い分野であると改めて認識しました。グループごとでの、症例検討会、ポスター発表では、それぞれの参加者のしている研究内容を発表する時間があり、各国の同世代の先生方と議論を交わり、またそれぞれ研究を聞くことで大変刺激になりました。拙い英語ながらも私の研究発表に対しても、参加していた方々が興味をもって聞いて頂き、多くの質問や助言をいただきました。自分の研究の問題点や改善点を見出すことができ、今後の研究に対して自信をもつことができました。講義の後には、参加者全員で高雄市内の観光に連れて行っていただき、クルーザーで大変きれいな夜景を眺めたり、高雄の美味しい魚介料理を食べたり、お



写真 レクリエーションで乗ったクルーザーからの夜景

酒を飲んだりして、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。また各国の同世代の先生方と交流する中で、それぞれの国の文化や医療制度の違いを教えていただきました。The 8th master class on Ageing in Asia に参加する前は不安や緊張が大きかったのですが、皆さんに大変親切にいただき、刺激的で楽しい時間を過ごすことが出来ました。今回の MCA での出会いが、今後の診療や研究、英会話へのモチベーションの向上になりました。今回出会った先生方といつか再会した際にはもっと流暢な英語で会話や討論に参加できるように頑張りたいと思いました。IAGG や日本老年医学会の皆様には、このような素晴らしいプログラムを企画していただき、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。